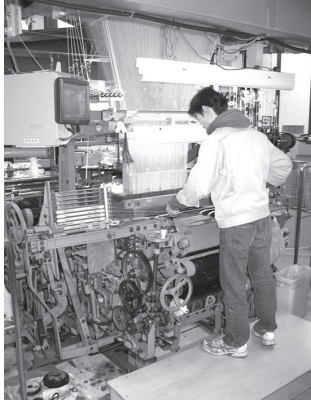


京の今様染織の匠を訪ねる会



2008.2.18

今回は、京都の今なお残る特殊技法と他には類をみないノウハウを持ち、その伝統を現在のニーズに合わせて伝える三つの工房を訪れた。
まず最初に訪れたのが、デジタル紋織で金襴襦子の製法などを織っているデジタルと伝統技法が結びついた織物を製織している「大根屋山本弘商店」だ。この工房では他に私たちにとても身近で誰もが一つは持っているのではないかとされる「お守り袋」が作られている。よく見ると、柄が凝っていて魅力的な袋である。
次に、ピロード、別珍などを手で織り、手作業でカットパイルを制作している京都で唯一の工房、「日本天鵝絨工業株式会社」を訪ねた。ここでは、実際にカットパイルをしている所と、その後園部にある工場へと向かい、有線の手織りを見せて頂いた。これぞ職人技と言われる手仕事が残っていた。昔は百人以上いた工場が今はたった五人ぐらい、それでも「made in kyoto」を強く唱い強い信念でモノづくりをし、新しいものを生み出そうとしている。
最後に訪れたのが、かやぶきの里で有名な美山町にある「小さな藍美術館」だ。平成五年に国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された、二百年前の趣きある建物の中で静かに藍染めが行われていた。建物の二階が、世界中から集められた藍の布コレクションの美術館で、一階では、古来より伝わる手法で藍染めを行っている。
今回訪れた、三つの工房はいずれも「本物」を追求し続け来世に残るモノづくりをしている。この強い灯火を絶やすことなく伝えていきたい。
(貴志 友美子)

2008 TDA 海外インテリアトレンドセミナー



- テーマ ヨーロッパ最新インテリアテキスタイルトレンド情報セミナー
- 日 時 2008年2月21日(木) 13:30～16:30
- 会 場 東京ウイメンズプラザホール
東京都渋谷区神宮前5-53-67
- 講 師 杉山哲三氏 今野文雄氏 大場麻美氏



杉山 哲三氏

今野 文雄氏

大場 麻美氏

毎年恒例になっているセミナーが、今年は東京、青山で行われました。いつも人気が高く、前回は会場が狭く補助いすなどを使い、ご迷惑をかけてしまい、今回は広い場所を選びました。参加人数は160名もあり、協会では最も大きい規模になりました。時間の問題で当初4名の講師の予定でしたが、3名になり、メゾンエオブジェ大場講師、ドモテックス今野講師、ハイムテキスタイル杉山講師の順番で3時間、大スクリーンでスライドを多用し(よく知られていることですが、会場で写真を取ることは禁じられていて簡単に取る事はできません、きちんと許可を取っているのだから貴重な写真になります)毎年行かれている方が受講されても納得していただける濃い内容になっていると思います。参加していただいた方の名簿を見ると、インテリアファブリック業界の縮図のごとく多くの企業の方がお見えになり、このまま終わるのがもったい無く思われます、できれば終わってから懇親会などがあると、普段できそうできない、横の繋がりをアシストできると思いました。講師の方々に手間をかけて制作していただいたカラーのレジメも付いていて会員にとって参加費3000円は安いと感じました、まだまだアピールがよくないのか会員の参加が少なく、まだ来ていない会員の方は次回は是非参加することをお進めします。